

神戸を「さらなる高み」へ ～久元きぞうのこれからの取り組み～

I. コロナとのたたかいに打ち克つ

●コロナワクチンの安全で迅速な接種

医師会・歯科医師会・民間病院協会・薬剤師会等との強固な連携・協力関係のもと、市民が安心してワクチンを接種できる体制・仕組みを構築し、全国初の市独自の大規模接種会場をはじめ、安全で迅速な接種を行います。



●中央市民病院における重度・中等度患者支援

コロナ重症患者専用臨時病棟（令和2年11月供用開始）の安定的運用を行い、重症者の回復に全力で対応します。また、重度・中等度のコロナ患者対応への備え（設備・体制・マニュアル化など）に取り組み、感染症に強い医療提供体制の構築に全力をあげて取り組みます。



●コロナ禍に直面する市内事業者支援の充実

コロナ禍を乗り越えるための経営継続支援、消費喚起、事業転換・販路拡大支援など、幅広い業種を対象に多様な支援を展開します。また、事業継承（M&Aを含む）や企業間の雇用調整など事業継続に向けた支援に取り組みます。

II. 健康と安全を守る

●「認知症神戸モデル」の発展拡充

「認知症神戸モデル」（診断助成・事故救済制度）で得られた診断・事故情報などを蓄積・分析することにより、診断の高度化、事故救済制度の充実、神戸モデルの国制度化に向けた働きかけを進めます。



●防犯灯・防犯カメラの拡充

駅周辺や通学路などの街灯・防犯カメラの大規模な増設・LED化、私道への街灯設置にかかる助成の大幅拡充により、人にやさしい明るい神戸のまちづくりを進めます。



●「水冷都市・神戸」としての異常高温対策の展開

異常高温対策として、夏の散水強化、ミスト整備、屋上・壁面緑化など、産学官のあらゆる知恵を投入・挑戦することにより、「水冷都市・神戸」を目指します。

III. 温もりのある地域社会を創る

●中学校給食の全員喫食と負担軽減

全ての中学生が温かい給食を喫食できるよう給食センターの整備や給食費の負担のあり方について検討を進めます。あわせて当面の間、一部保温食缶を導入します。



●1人1台端末の活用による新たな教育モデルの推進

児童生徒1人1台の学習用PCやICT機器を活用することにより、学力の向上、個人の理解度に応じた学習支援に取り組みます。また、臨時休校時等には、学習用PCをオンライン学習や家庭学習ツールとして活用することにより、学力の向上に努めます。



●声をあげられない孤独・孤立した若者への支援

ひきこもり、発達障害、家庭・地域社会の変容により孤立・孤独を抱える若者に対し、行政・支援機関・地域・教育機関などが連携して支援の手を差し伸べます。

IV. のびやかなくらしと環境を創る

●ポストコロナに対応するオープンな公共空間の創出

三宮クロススクエアなど道路空間の開放や東遊園地における野外マーケット開催など、ポストコロナにも対応した居心地の良いオープンな公共空間を創出します。



●水素社会の実現

カーボンニュートラルの実現に向け、世界初の海上輸送実験をはじめとするサプライチェーンの構築や水素利用システムの開発、燃料電池自動車（FCV）の普及に民間事業者と連携して取り組みます。



●市民・経済界・アーティストと一緒に取り組む芸術文化活動

市民や経済界、アーティストと一緒に「神戸の芸術文化を支える仕組みづくり」を推進します。ストリートピアノの海岸線全駅設置やストリートキーボードの配置により、身近な場所で音楽を奏でることができる環境を整備するとともに、ミュージカルアートやまちなか音楽祭などにより、まちなかで文化・芸術に触れる機会を創出します。

V. 力強い神戸経済を創る

●スタートアップが輝き、経済をけん引する街

世界トップレベルのスタートアップ支援組織「500startups」や国連プロジェクトサービス機関（UNOPS）などとの連携によるプログラムを提供し、また市独自で世界的に著名なメンターを活用したプログラムを実施することで、世界中のスタートアップ企業に活動・交流の場を提供します。



●スーパーコンピュータ「富岳」を活用した研究開発・産業利用促進

世界最高水準のスーパーコンピュータ「富岳」による、コロナ禍における飛沫シミュレーションのような研究成果を継続的に発信するとともに、産業利用を促進し、地域経済の活性化につなげます。



●BE Smart KOBE～新たなICT技術の実用化

海・山をはじめ市内の全地域で、最先端のICT技術の開発の実証フィールドを提供し、ドローンによる貨物配送実装、画像認証技術の活用など、デジタル技術が早期に市民の生活の豊かさにつながるよう新たなICT技術の実用化に努めます。

VI. 未来に輝く神戸の街を創る

●美しき港町・神戸の玄関口「三宮」へ

民間活力を導入し、新たな駅前広場、高規格のオフィス・ホテル、西日本最大級の高速バスターミナル、三宮クロススクエア、文化ホール、図書館・体育館などを順次整備するとともに、様々な人が活動するエリアとすることで、港町・神戸の象徴となる新しい駅前空間を整備します。



●ウォーターフロントエリアへの回遊性向上

ポートミュージアムや1万人規模のアリーナ整備をはじめ、賑わいが広がるウォーターフロントの回遊性を高めるため、税関前歩道橋のリニューアル、ハーバーランド～中突堤・ウォーターフロント～三宮など都心エリアを回遊できる連節バスを運行するとともに、LRTなどの新たな移動手段の検討を進めます。



●神戸空港の国際化などの利活用拡大

さらなる発着枠の拡大及び運用時間の延長による就航都市・便数の拡大により市民の利便性を高めるとともに、定期便の国際化を見据え、ビジネスジェットの受入体制整備による発着便数の増加に取り組みます。

VII. DXの活用による市民参加を進める

●DXを活用した地域活動支援の充実

全ての地域福祉センター・児童館にWi-Fi設備を導入し、非対面でも情報交換・活動ができる環境を整えるとともに、小中高生等が持参するタブレットを活用した学習ができる環境を整えます。

●デジタル改革によるスマート自治体の実現

書面・押印・対面主義などのアナログ慣行を見直し、行政手続きの積極的なICT化の推進により、市民サービスの充実と業務効率化を兼ね備えたスマート自治体へと転換します。

久元市長に対する支援の輪を広げましょう。

後援会ではあなたのご入会をお待ちしています。
既に会員の方は、新たに会員になっていただける方を
ご紹介ください。

ご連絡は

①お電話で 078-222-0155

又は

②ネットで 久元きぞう

検索

クリック



発行:新しいステージの神戸をつくる会
Sep. 2021 第15号

651-0084

神戸市中央区磯辺通4丁目2番26号 新美蓉ビル内

TEL:078-222-0155

FAX:078-222-0166

KOBE 上昇気流 Vol.15

コロナを乗り越え 未来へ
～海と山が育むグローバル貢献都市の実現～

宿泊療養施設の強化

- ・医療的ケア体制の拡充
- ・抗体カクテル療法の実施
- ・4か所目の新設

自宅療養者への対応強化

- ・自宅療養者フォローアップチームの設置



新型コロナウイルスとのたたかいに打ち克つために

- コロナワクチンの安全かつ迅速な接種
- 神戸市独自の大規模接種会場の設置
- ワクチン接種予約に「お助け隊」の支援
- 重症患者受け入れ臨時病棟の整備
- PCR検査の拡充と宿泊療養施設の整備運営
- 健康科学研究所の変異株の監視体制の確立

- 「特別定額給付金」の早期給付
- 「ひとり親世帯神戸市臨時給付金」の実施
- オーナーと連携した店舗家賃の負担軽減
- アーティストの活動機会の創出
- 住宅団地でキッチンカー出張販売の実施
- 「こうべ医療者応援ファンド」の創設 など

市長就任以来8年にわたり、神戸を安定した成長軌道に乗せていくため、「大切なものはしっかりと守り、断固たる決意を持って変えるべきところは変える」ことを基本に、震災により取り組むことができなかった施策を展開するなど、神戸の新しい未来を創っていくことに全身全霊を傾けてまいりました。

新型コロナウイルス感染症との闘いが続く中、今後も引き続き、医療提供体制の安定的確保、安全で迅速なワクチン接種など感染症対策を最優先に、市民の皆さまの命と健康を守り、神戸経済を回復させることに全力で取り組んでまいります。

同時に、コロナ出現前からの課題である人口減少や超高齢化、東京一極集中への対応も必要です。ポスト・コロナ時代を見据え、進化するテクノロジーを積極的に取り入れながら、さらなる高みを目指して挑戦し続けたいと考えていますので、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

令和3年9月

ひさもと きぞう
神戸市長 久元喜造

久元きぞうの政治理念

- 市民の知恵をあつめ、形にする政治
- スピード感を持ち、実現する政治
- 公正で折り目正しい行政

公式Webサイトを
ご覧ください



久元きぞう 上昇気流 検索

メールマガジン
をお読みください

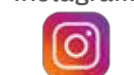


随時、日々の情報を市長自らが
発信しています!!

Twitter



Instagram



ブログ



いま「神戸のまち」がかわります

東灘区



HIGASHINADA

「こべっこあそびひろば・六甲アイランド」 「おやこふらっとひろば東灘」オープン

「こべっこあそびひろば・六甲アイランド」が市内2か所目として、令和3年4月にオープン。子育て相談や情報提供など、親子が気軽に集える「おやこふらっとひろば 東灘」を同2年6月に区役所に開設しました。



こべっこあそびひろば・六甲アイランド

灘区



NADA

「六甲山上スマートシティ構想」を 展開しています

六甲山上に3つの空間「自然調和型オフィス(没入空間)」最先端テクノロジー(実装空間)」「創造を生むつながり(共創空間)」を作り出すことにより、日本一美しいクリエイティブ・スマート空間の実現を目指す「六甲山上スマートシティ構想」を展開しています。



共創ラボ(ROKKONOMAD)

北区



KITA

北神急行電鉄の市営化による 大幅な運賃値下げの実現

令和2年6月に北神急行電鉄は市営化され、市営地下鉄北神急行線となりました。谷上から三宮間の運賃が550円から約半分の280円になるなど、全線にわたって大幅な運賃値下げを実現しました。また、この取り組みにあわせて、新たな北の玄関口として谷上駅周辺の整備を進めています。



急行線市営化記念
令和2年6月1日

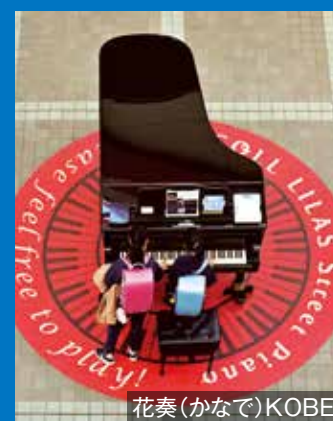
北区(北神)



HOKUSHIN

岡場駅周辺の活性化

平成31年4月、岡場駅前の商業施設エコール・リラに、北図書館北神分館を拡充した「北神図書館」を移転・開館し、令和元年7月には「こべっこあそびひろば 岡場」をオープン。同年9月にストリートピアノを設置し、愛称公募により「花奏(かなで)KOBE」と名付けられました。



花奏(かなで)KOBE



北神図書館



こべっこあそびひろば 岡場

中央区



CHUO

新中央区総合庁舎が令和4年度前半に完成予定。勤労会館、生田文化会館、葺合文化センターの機能も一部併せ持ち、おやこふらっとひろばも整備予定です。

三宮駅周辺の再整備を進め、三宮クロススクエア、図書館、大・中ホールといった教育・文化施設の充実やバスターミナルの整備、ウォーターフロントに至る回遊路の整備等にも取り組み、同3年4月の神戸三宮阪急ビルオープンなど、三宮が大きく変わろうとしています。

都心・三宮がかわります



三宮クロススクエア



新中央区総合庁舎

須磨区



SUMA

子育て世代に優しい環境づくりを目指し、駅ビルのリニューアル・北館の新設、須磨パティオ・落合中央公園のリニューアル、集合住宅の新設など、更なる魅力向上を図ります。令和3年3月に名谷図書館を開館し、同6年度には、支所機能と駅ビルの乳幼児健診スペースを集約し、(仮称)北須磨支所ビルを整備します。



名谷図書館



名谷駅前広場

リノベーション・神戸「名谷活性化プラン」 ～躍動する多世代共生のまちへ～

兵庫区



HYOGO

兵庫区総合庁舎がオープンしました

令和元年8月に新庁舎がオープンし、同3年8月に消防署が供用を開始しました。湊川公園を段階的にリニューアルし、これまで屋根付きのイベントスペースや「ふわふわドーム」を整備。同3年9月頃に幼児広場等の整備が完成します。



ふわふわドーム



兵庫区総合庁舎

長田区



NAGATA

新長田南地区の にぎわいづくり

令和元年度に職員1,000人規模の新長田合同庁舎を県と協力して整備。同5年度に完成予定の県立総合衛生学院や県立大学・兵庫教育大学のサテライトキャンパスには、約1,000人の学生・職員が通います。再開発ビルの地下通路や地下鉄山手線新長田駅の改修、JR新長田駅前にバスターミナルも整備し、新長田の活性化と利便性の向上を目指します。



新長田合同庁舎



地下鉄新長田駅



JR新長田駅バスターミナル

垂水区



TARUMI

リノベーション・神戸「垂水活性化プラン」 ～生まれ変わる海辺のまち～

垂水駅周辺エリアにおいて体育館・図書館の移転・新設、子育て支援拠点・中核医療機関の整備など、公共・公益施設の再配置に取り組んでいます。駅前ロータリーの再整備、民間再開発事業への支援、垂水小学校の建て替え等により、利便性・安全性の向上、教育環境の改善を図ります。



垂水図書館



垂水駅前広場

西区



NISHI

リノベーション・神戸「西神中央活性化プラン」 ～進化する上質なまち～

西神中央駅周辺において、令和3年度末を目指し、新西区庁舎、文化・芸術ホール、新西図書館といった新たな主要施設の整備とともに、同5年度末までにプレティ広場やパークアベニュー、駅前広場など周辺施設も整備します。駅周辺には、今後5年間で約700戸の住宅を供給予定で、まちの一層のにぎわいや魅力向上を目指します。



文化・芸術ホール



新西図書館



パークアベニュー



プレティ広場